

展覧会名称

「早稲田建築 草創期の建築家」展

展覧会趣旨

「早稲田建築」は、理工学部、夜間の二部、工業高校、工手学校（現在の芸術学校の前身）などにおける早稲田大学の建築教育を総称して指す言葉である。それら4つの学校の同窓会組織を連合する組織が「稲門建築会」であり、その機関誌も『早稲田建築』と名付けられている。その草創期にあたる建築家とその薫陶に触れた後進の多くの著名な建築人たちの系譜を俯瞰することで、早稲田建築の果たした戦前からのわが国建築界における役割と、次代に向けての新たな使命を見据える機会としたい。

展示概要

佐藤功一（1878-1941）、内藤多仲（1886-1970）、今和次郎（1888-1973）、佐藤武夫（1899-1972）、今井兼次（1895-1987）らをはじめとする、早稲田建築の草創期を彩った建築家、建築教育者に焦点を当て、その足跡とそれに連なる建築人の系譜を、稲門建築会の「稲門建築ライブラリー」、および建築学科のアーカイブズが所有する図面、スケッチ等の資料を中心に、他大学が所蔵する資料などを加えて展観する。

会期：2022年6月2日（木）～7月15日（金）

会場：早稲田大学會津八一記念博物館 2階 グランドギャラリー

開館：10:00-17:00

入館料：無料

体制（予定）

共催：早稲田大学創造理工学部建築学科、早稲田大学會津八一記念博物館、早稲田大学稲門建築会、早稲田大学理工学研究所、早稲田大学建築学研究所

後援：日本建築学会、日本建築家協会、東京建築士会、協力機関（大学、その他）

企画：早稲田建築草創期の建築家展実行委員会

主な展示内容（予定）

早稲田建築の草創期を概観するために、建築学科創設に尽力した佐藤功一、初期に教鞭をとった内藤多仲、岡田信一郎、今和次郎、伊東忠太らの建築・研究資料を展示する。あわせて草創期の卒業生である今井兼次、佐藤武夫、村野藤吾らの作品を大学に関連する建築を中心に紹介する。さらにその後の早稲田建築の系譜として、草創期卒業生からの薫陶を受けた第三世代の武基雄、安東勝男、吉阪隆正、穂積信夫、池原義郎、菊竹清訓らの作品を展示する。

(図面・スケッチ 関連資料 展示)

- ・ 建築学科の歴史パネル（経緯と年譜、教員着任年表、人物写真など）
- ・ 初期授業風景（写真、回想録、カリキュラムなど）
- ・ 佐藤功一／早稲田大学キャンパスの変遷、都市美論 他
- ・ 内藤多仲／東京タワー関連図面、鞆 他
- ・ 伊東忠太／建築学会所蔵資料
- ・ 今和次郎／考現学・民家研究の野帖スケッチ、手紙 他
- ・ 今井兼次／早稲田大学2号館（旧図書館・現會津八一記念博物館）の図面 他
- ・ 佐藤武夫／大隈講堂関連図面 他
- ・ 村野藤吾／文学部校舎
- ・ 安東勝男・松井源吾・井上宇市／理工キャンパス関連図面 他
- ・ 本庄キャンパス（穂積信夫）、所沢キャンパス（池原義郎）関連図面 他
- ・ 稲門建築会 稲門建築ライブラリー、オーラルヒストリーアーカイブ
- ・ 『早稲田建築学報』『早苗会会誌』『早稲田建築講義録』『WA』等の発行物アーカイブ 他

(模型製作 展示) 以下の模型を新規に製作し、学科アーカイブとして保存する。*印のみ既存模型。

- ・ 佐藤功一／早稲田大学キャンパス計画変遷ボリューム
- ・ 内藤多仲／東京タワー
- ・ 今井兼次／早稲田大学2号館（旧図書館）
- ・ 佐藤武夫／大隈講堂
- ・ 村野藤吾／早稲田大学31号館・33号館
- ・ 安東勝男・松井源吾・井上宇市／理工キャンパス
- ・ 武基雄／長崎水族館
- ・ 吉阪隆正／ヴィラクウクウ
- ・ 菊竹清訓／国立京都国際会議場計画案*
- ・ 池原義郎／早稲田大学所沢キャンパス
- ・ 穂積信夫／早稲田大学本庄キャンパス

関連シンポジウム

「早稲田建築 草創期の建築家（仮）」

日時：6月18日（土）

場所：早稲田大学 大隈講堂

発行物

展覧会図録（500部）

予算補助(予定)

- ・ 會津八一記念博物館 補助金
- ・ 建築学科アーカイブ費
- ・ 稲門建築会を通じた卒業生有志からの寄付金
- ・ 校友関係企業からの協賛金
- ・ 早稲田大学理工学研究所第2種行事補助金



